

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ

ファイセック

FICEC

発行

ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2006年 10月号(隔月刊) 第87号

『チャレンジ・ディスカバー・ワールド』

7月31日～8月1日 ふじみ野市で中学生の体験プログラム



外国について学ぶワークショップ



スーパーマーケットで食材を購入



食べた後は片付けも大切

中学生が外国籍の人たちと国際交流体験

小中学校で『総合的な学習』が導入され、さまざまな福祉体験が授業の中に取り入れられています。この体験プログラムは、子どもたちが地域の中で外国籍の人々などさまざまな立場の人たちを理解したり考えたりする中で、素直に感じた思いを「自分たちにもできるボランティア活動」につなげる機会として、積極的な社会参加、豊かな人間関係をつくることを目的として実施されました。主催したのは社会福祉法人大井町社会福祉協議会(大井町ボランティアセンター)で、ふじみの国際交

流センターが協力して実施されました。参加した中学生は20人。

催しは、2日間にわたり行われ、1日目は外国人の立場について考えるワークショップ、2日目は外国籍の人たちから外国料理の指導を受けて、「外国料理を作って食べる」体験をしました。料理は、中国、台湾、フィリピンなどのもので、外国の人たちが用意してくれたレシピを聞いた後、近くのスーパーに材料を買出しに行き、そして作って食べるという貴重な体験をしました。

(文:内藤忍、写真:青木和雄)

語学教室

英語教室

中国語教室

韓国語教室

ポルトガル語教室

地域に住む外国人が母国語などを教える 日本人と外国人とが交流するサロンとして運営

ふじみの国際交流センター（FICEC）では、2006年9月現在、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の4つの語学教室を開催している。「国際交流」を目的にした団体なので、その活動として語学教室があるのは不思議ではないのだが、街なかで事業として行われている英語などの語学教室とは、少し成り立ちが異なっている。

もともと、FICECは、「外国籍の人たちが日本で、できるだけ暮らしやすくなるように」と、生活相談や日本語教室を実施するために設立された団体。いわば、地域住民が外国籍の人たちに、同じ地域に暮らす者としてボランティアの生活支援をしようというのが目的。こうして活動を行っていくうちに、日本語教室で日本語を学んだ外国の人たちが、「自分たちでも何かできることをしたい」と、母国語や自分の得意とする言葉を教えようと始まったのが、FICECの語学教室だ。「事業」としてよりも、そもそもが「交流」を目的に始まったもの。だから、先生も決して教えるプロではなく、むしろ語学を題材に日本人と外国人とが交流するサロンとして運営されている。

に、メキシコ、ブラジル、ロシアなどの人が先生を勤めている。現在は、2人のオーストラリア人が隔週交替で教えてくれている。

授業は会話中心で、最近の気になるニュースや、身の回りの事柄を英語で自由に話し合う。例えば、夏の冷房がききすぎることから地球温暖化の話になったり、異常気象の話になったり。基本的に英語だけを使うが、わからない場合には辞書を使ったり、わかる人が助け船を出したりして進んでいく。



英語教室

毎週水曜日午後7時～9時

受講料：1カ月4,000円（4回）

FICECの語学教室でいちばん最初に始まったのが英語教室で、約10年間継続されている。日本語教室で日本語を教えていたスタッフが、カナダ人の受講者に、カナダについていろいろ質問するうちに英語教室として始まったものだ。それ以来、「英語を学習すること」だけでなく、「世界を知ること」も目的の一つとして、FICECに縁のあったさまざまな国の人に先生を依頼している。これまでに、カナダ以外

中国語教室

毎週水曜日午前10時～12時

受講料：1回冬期200円 夏期300円（冷暖房費）

中国語教室は、先生と生徒が最も多い教室といえる。生徒は20人前後で、毎回13～14人は出席。先生は、日本語教室で日本語を学んだ人や、その友人の人たちで、5、6人が交替で教えてくれる。その日によって出席する先生の人数も違う。

授業は、初級と中級に分かれており、いず

れも特定のテキストを使って会話中心に進んでいく。先生も日本語がそれほど話せないため、お互いに電子辞書などを使って、日本語と中国語とで会話して進める。みんなで助け合い、先生、生徒の別なく和気あいあいと進められている教室だ。

韓国語教室

毎週月曜日午前10時～12時
受講料：1回1,000円

FICECの日本語教室に来ていた韓国出身の女性が、韓国語を勉強したい日本人のためにと始まった教室。近年の韓国ドラマの人気もあって、生徒は常時12～13人と多い。受講する人は、「娘が韓国の人と結婚したので、孫とも韓国語で話したい」、あるいは「韓国ドラマを字幕なしで見たい」「話せるようになったら、韓国に行こうと思っている」などと、その受講動機を話している。



先生は、夫の仕事で日本に滞在している韓国人の主婦の人たち数人。いずれもFICECや地域の公民館の日本語教室で学んだ人たちで、受講者が多いために、たいていは2つのグループに分かれて、それぞれ先生がついて勉強している。

ポルトガル語教室

毎週月曜日午前10時～12時
受講料：1回1,000円

語学教室ではいちばん新しく、2年ほど前から始まった教室。ポルトガル語は、街なかの語学教室でも実施しているところが少ないため、かなり遠方からの生徒も。中には千葉から受講しに来ていた人もいたとのこと。これまでに、15、6人が受講したが、現在は生徒は4、5人ほど。生徒の何人かは「ブラジルの音楽や文化に興味がある」「ブラジルに行ってみよう」とその受講動機を話してくれた。

先生は、ブラジル生まれの三矢百合子さん。主婦であるだけに、もちろん料理なども得意。7月には「ブラジル料理教室」も開かれていて、語学だけでなく、ブラジルのさまざまな文化なども題材に入れて、楽しみながら行われている。

(取材：上原美樹、内藤忍)

たくさんのご寄付に御礼申し上げます

民設民営で、「在日外国人の自立の支援と共生の街づくり」を目指して、ふじみの国際交流センターが活動を始めて10年になりました。

その間(株)オムテック様、青峰社様、海老原夕美法律事務所様、東入間遊戯業防犯協力会様、国際ソロプチミスト様、カトリック上福岡教会様をはじめとして、大勢の皆様から多大なご寄付をいただきました。「頑張ってね。応援してますよ」と言って下さる声が聞こえてきます。背中をポンとたたいて下さっている笑顔が思い浮かんできます。私たちは、活動資金と一緒に大きなエネルギーもいただいています。何とお礼を言っているかわかりません。

受益者負担が不可能な私たちのNPO活動は、皆様からいただいたご寄付によって成り立っています。これからも、皆で力を合わせ、まじめに地道に活動を続けてまいります。今後ともご支援いただくよう、お願い申し上げます。本当にありがとうございました。

ふじみの国際交流センター (FICEC) 理事長 石井ナナエ

埼玉県内の外国人支援団体が連携 DV 被害者支援のための研修会を開催

10月21日(土)にも
研修会を開催の予定

7月29日(土)と9月16日(土)、ふじみの国際交流センター(FICEC)で、DV(家庭内暴力)被害者支援のための勉強会が行われた。7月29日は、東京都新宿区の行政書士・長谷川祥子さんが講師、そして9月16日は御茶ノ水女子大学の戒能民江教授が講師となって行われたもの。いずれも、FICECをはじめ埼玉県内で外国籍市民のためのDV被害者支援を行っている団体などから多数の参加者があり、DV被害者支援のあり方などについて研修を行った。

埼玉県内には、外国人のための生活支援を行っている団体として、FICEC以外にも「外国人119ネット」「KAFIN(カフィン)」「オープン

ハウス」などがあり、こうした共通の目的を持つ団体が相互に連携を保とうという話し合いが今年に入って行われていた。7月はその4団体が協力した研修会として行われたもの。また、9月は、FICECが内閣府の「配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー派遣事業」による講師派遣を受けて行われたものだ。

さらに4団体では、10月21日(土)にも長谷川祥子さんを講師とした2回目の研修会を実施する予定。今後、こうした研修会などを通じて、お互いに連携を取りながら、DV被害者支援の活動を行うことにしている。

(文・写真：内藤忍)



7月29日の研修会



9月16日の研修会

「DV 被害者支援ボランティア養成講座」を開催 10月～11月の講座への参加者を募集中です

10月15日まで
参加者募集中

ふじみの国際交流センターでは、10月18日(水)から「平成18年度DV被害者支援ボランティア養成講座」を実施することになりました。10月15日まで受講者を募集中ですので、ご希望の方はぜひご参加ください。

この事業は、DV(家庭内暴力)によって夫などから被害を受けている妻や子どもを支援するためのボランティアを養成しようというもので、埼玉県男女共同参画課の助成を受けて同センターが実施するものです。参加者は、10月18日から11月25日までに5回の講座を受講することになっており、15人～20人を定員として募集中です。すでに、平成17年度にも開催実績があり、35人が受講しました。

●主な実施内容

- 10/18(水)基礎知識「なくそう!女性への暴力」
お茶の水女子大学・戒能民江教授
- 11/1(水)DV裁判の実態と彼女たちのその後
弁護士・海老原夕美氏
- 11/15(水)取材を終えて/女性の生き方を考える
毎日新聞記者・弘田恭子氏
- 11/22(水)「あなたを守るDV防止法」
埼玉県婦人相談センター・利根川モト副所長
- 11/29(水)「被害者に対する考え方」
埼玉県婦人相談センター・石井久子部長

●問い合わせ：ふじみの国際交流センター
Tel: 049-256-4290、049-269-6450

子供も親も「スライム」で楽しむ

第2回「子どもとともに育つ親の会」のイベント



秋雨の降る涼しい中、第2回「子どもとともに育つ親の会」のイベントが開催されました。『スライムdeあそぼう』というのが今回のテーマ。「スライム」って何かって？ 粘土でもない、ゼリーでもない、やわらかくて自由な色と形が作れるビニール的一种。カラフルで柔らかな感触の「スライム」をみんなで作り、それで遊ぼうという内容。外国籍の親子2組と大学生2人も参加して総勢14名で和やかにスタートしました。

スタッフの合図でスライムを作る材料を混ぜていき、液体から変化して徐々にできあがっていく過程見つめる子どもたち。最初は、どうしたら良いのか分からずにいた子も、少しずつスライムの感触を楽しんで、そのうちに自分で考えていろいろな形を創りだす。そんな真剣な姿を見て大人たちも次第に夢中になり、子どもたちに負けないくらいスライムあそびを満喫しました。

今回もパワー全開の子どもたち。でもその中でふと見せる真剣な表情はまさに成長の証。どんな小さな成長でもたくさんの参加者と一緒に喜び合っていきたい。

ふじみの国際交流センターで発行している

『インフォメーションふじみの』で偶然目にした「台湾料理でランチをしよう」というイベント（今年の2月開催）に、3歳の息子と参加。そこに集まった3名がスタッフとなって、「子どもとともに育つ親の会」が発足しました。

今と昔では遊びも変わり、れんげ畑で花を摘むことも、田んぼに入って遊ぶこともほとんどなくなりました。「自然」や「季節」を感じながら遊ぶ機会が少なくなってしまった今、ここでは全身（「見る」「触る」「考える」「作る」「笑う」）を使い、家ではできない遊びを親子でダイナミックに楽しむ場にしたい。

<楽しむ>ということは親子が一緒に思い切り遊ぶこと。この会にはこんな想いが詰まっています。今後も同じ地域に住む外国籍の親子に声をかけ、「あそび」を通して、いろいろな親子が同じ目線で楽しい時間を過ごせる会にしていきたいと考えています。

次回のイベントは12月。クリスマスにちなんだ内容の予定ですが、詳細は次回の交流会で参加者とともに具体的な企画を話し合う予定です。小さいお子さんと一緒にぜひご参加ください。お問い合わせは、ふじみの国際交流センターまで。

（文：金子美恵子、写真：内藤忍）

手作りで栄養たっぷり 本場で工夫したキムチを販売 ふじみ野の成栄食品

〒356-0034

ふじみ野市駒林117-2

Tel:049-266-6635

キムチといえば辛いものの代表のようなイメージの食品だが、実は、野菜、果物、海鮮など、さまざまな素材が入った栄養たっぷりの食品。そんな韓国のキムチを手作りして売ってくれる店がふじみ野にある。ふじみ野駅から徒歩15分ほどのところにある成栄食品だ。経営者の李栄玉さんは、日本人の夫と結

婚して20年前に来日。その出身を生かして、母親をはじめ韓国の人たちから伝統のキムチ作りを学び、防腐剤などの入っていない手作りのキムチを提供している。

成栄食品で販売しているキムチは、実に種類が豊富。定番の白菜、キュウリ、大根をはじめ、野菜だけでもセロリ、ニンニク、ネギ、高菜、竹の子、さらにはノリ、イカ、タコ、カニなどを漬け込んだキムチもあって、いずれも1パック500円で売られている。

キムチというのは、そのエキスである「ヤンニョム」を野菜などと混ぜ合わせて作る。発酵食品なので、乳酸菌やビタミン類が豊富に含まれている。ことにキムチの乳酸菌はヨーグルトの100倍もあるといわれている。

李さんは、「非常に栄養価が高いので、韓国では小学校の給食などでも毎食出されるくらいです。キムチをいっしょに食べると、その殺菌作用で食中毒なども起こしにくいといわれています」と話す。そして、李さんは、ヤンニョムを作るときには、お米、タマネギ、ニンニク、魚のエキスなど基本的な材料のほか、リンゴ、栗、なしなど果物やイカ、牡蠣など海鮮物を季節ごとに入れるなどして、栄養や味に工夫を凝らして作っている。

そんな李さんのキムチだけに、店にはひっきりなしに客が来店。それも、「近所の人に頼まれたから」「これから帰省するので実家に買っていく」などと、だいたい数パックのまとめ買い。李さんは、そんな客に「今度はこれも食べてみてください」と試食を勧めて、お茶を出しながらの世間話。そんな庶民的な気安さも店の魅力になっている。

(取材：川田明香、篠島幹昌、内藤忍)



フィリピン料理

ニンニクなどがしみ込んだ香ばしさ
ガーリックチキン

今回は、フィリピン料理のガーリックチキンを紹介します。ニンニクなどの調味料が鶏肉にしみ込んだ、おいしいチキンです。チキンができあがったら、ニンジン、インゲンなど茹でた野菜を付け合せると、よりおいしくいただくことができます。

(レシピ紹介：遠藤ちなみ、阿澄康子)



料理の作り方 (材料は4人分)

材料

- ニンニク：丸ごと1個 (4分の3はすりつぶす、4分の1はみじん切り)
- 鶏肉：500グラム (胸肉、骨付きモモ、ササミなど)
- レモン：半分 (絞り汁を使う)
- 万能ねぎ：適量 (みじん切りで色づけに使う)
- 醤油：適量
- 塩、コショウ、味の素
- バター：適量

鶏肉をタレに漬け込む

鶏肉をボールに移し、すったニンニク、レモンの絞り汁、醤油、塩、コショウ、味の素を入れ、よく混ぜて30分ほど漬け込む。混ぜるときに、肉にニンニクや調味料がしみ込むようによくこね合わせる。時間がある場合には、味付けを薄めにして、1日冷蔵庫に入れておくと、味がよくしみ込んで、よりおいしくなります。



ソースとして

バターガーリックを作る

鶏肉を漬けている間に、バターガーリックのソースを作ります。フライパンに、みじん切りにしておいた4分の1のニンニクが浸るくらいのバターを入れる。バターが溶けたら、みじん切りのニンニクを入れ、弱火でじっくりとキツネ色になるまで混ぜ合わせます。キツネ色になったら、器に移し、余熱を冷ましておく。



漬け込んだチキンを揚げる

揚げる前に、鶏肉をホークなどでよく刺して、火の通りがよくなるようにします。フライパンに鶏肉が浸るくらいの量の油を入れ、火にかけます。

油が160～180度ぐらいにまで温まったら、漬け込み汁やニンニクをよく取り除いてから鶏肉をフライパンに入れ、キツネ色になるまで何度か裏返しながらか揚げます。



チキンを盛り付ける

鶏肉が揚がったら、キッチンペーパーなどで油をよく切り、お皿に盛り付けます。チキンが温かいうちに、作っておいたガーリックバターのソースや万能ねぎのみじん切りを、鶏肉の上にトッピングします。お好みの野菜をお肉のサイドに盛り付ければできあがり。



センターの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員……正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口 3,000円、団体1口 10,000円

●センターを財政的に支える会員……賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口 3,000円、団体1口 10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511
 口座名：ふじみの国際交流センター

ご寄付をいただいた方々

ご支援ありがとうございます

●2005年4月～（50音順・敬称略）

青木和雄、阿澄康子、穴沢エミリン、荒田光男、石井ナナエ、伊藤智明、伊藤真弓、岩田ひさよ、岩田仁、上島直美、エスコピアス修道士会、江原工業、海老原夕美、遠藤宏子、大関優、太田原裕、小沢ビクトリア、小原富明、(株)オムテック、葛西敦子、加藤久美子、カトリック教会、金子朝子、金子忠弘、神田順子、金文玉、栗島三千代、候、国際ソロプチミスト、後藤泰博、サークルクムスタカ、庄子一雄、申常午、菅山修二、鈴木譲二、鈴木美佐子、高橋郁子、武田和子、田中正江、チョン玄淑、常西カツエ、寺村壁如、戸塚成子、内藤忍、仲田京子、中村禎作、萩原千代子、橋本弘美、長谷川正江、羽石貴裕、東入間地区遊技業組合、広木加代子、藤林泰、三芳アジア友の会、百瀬滉、矢野やす子、山崎友理、若林祥文

●ご寄付は税金の控除や損金参入の対象となります

ふじみの国際交流センターは、国税庁からの認定を受けた「認定NPO法人」ですので、ご寄付は、法人であれば損金参入が認められ、個人であれば寄付控除の対象となります。

ふじみの国際交流センター(FICEC)のスクール、クラブ

<p>日本語教室 「生活に役立つ日本語の習得」を目標に、日本人が日本語で教える教室。 ●毎週木曜日 午前10時～12時 受講料：無料</p>	<p>国際こどもクラブ 日本語が不自由な子どもたちに日本語や勉強を教えます。 ●毎週土曜日 午前10時～12時 受講料：無料</p>	<p>パソコン教室 外国人、日本人にパソコンの技術指導をします。 ●月2回土曜日開催 午後1時～3時 受講料：日本人1000円 外国人300円</p>	<p>国際スポーツクラブ 上福岡の中学校体育館でバスケットボールを楽しみます。 ●毎週日曜日 午後7時～9時半 参加費：無料</p>
<p>中国語教室 学習者の中国語能力により、初級、中級上級に分かれて学習します。 ●毎週金曜日 午前10時～12時 冷暖房1回200～300円</p>	<p>韓国語教室 韓国語初級講座。韓国人の先生が、やさしく丁寧に教えてくれます。 ●毎週月曜日 午前10時～12時 受講料：1回500円</p>	<p>ポルトガル語教室 ブラジルで通訳の仕事をしての方が指導してくれています。 ●毎週火曜日 午前10時～12時 受講料：1回1000円</p>	<p>英語教室 初心者を対象としたスクールです。グループで楽しみながら勉強します。 ●毎週水曜日 午後7時～ 受講料：月4回4000円</p>

編集後記

あなたも編集委員会に加わってください。大歓迎です。

■今回はおいしい取材でした！キムチ大好きなので、取材時にいろんな種類のキムチ食べることができました。ただ、家帰ると、お気に入りの買って行ったキムチはもうありませんでした。。。辛いもの好きなかたは是非、行ってきてくださいね！（川田）

■名古屋に住む54才の母と、週3回くらいケイタイでメールしています。最初は、濁点のないひらがなだけでしたが、いま

は私が送るのより、絵文字がたくさん入ったメールが来ます。夕飯やペットなど、他愛ない内容ですが、楽しいですよー。みなさんも、始めてみては！？（上原）

■本当は、発行の前月中に印刷を終わらせるというのが予定のスケジュールなんです。なかなかそう予定どおりには進みません。ことに、私が最終的な原稿をまとめるということになっていて、みんなの原稿はだいぶ前に書きあがっているのだ

から、すぐにまとめればいいものを、何をぐずぐずしているのか、どうしてもまとめの作業が月末近くなって、組版したら翌月に入っていたということになります。

しかし、3号目にして驚くのは、編集委員の方々の書き上げてくる原稿が、どんどんよくなってきていること。この分では、私がまとめる必要のない原稿も、すぐに出来るようになると思います。期待しております。（内藤）

編集スタッフ

発行者：石井ナナエ（センター理事長）
 編集委員（50音順）：青木和雄、秋山理恵、阿澄康子、荒田光男、岩田仁、石原怜実、上島直美、上原美樹、王祺、王賛博、川田明香、黄耀潤、斉藤恵子、篠島幹昌、高橋良子、内藤忍、長谷川正江、広木加代子、山崎友理

特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 Tel:049-256-4290 Fax:049-256-4291
 生活相談専用電話:049-269-6450